

放送界  
各賞受賞

## 放送界の各賞を相次ぎ受賞した 山形放送のラジオドキュメンタリーを 地元で鑑賞!

公開セミナー「ラジオを楽しむ!」は、ラジオだからこそできること、またその魅力を伝え、多くの皆さまにラジオにより親しんで頂くためのセミナーです。その第5回は、2014年と2015年に放送され、各方面から高い評価を受け、ギャラクシー賞大賞、放送文化基金賞最優秀賞、日本民間放送連盟賞最優秀など各賞を受賞した、山形放送の2番組を取り上げ、地元・山形で開催します。両番組共、音楽の力、言葉の力を強く感じるラジオドキュメンタリーです。番組鑑賞後、制作者から、番組への想い、番組作りの苦勞など、ラジオ制作現場の生の声を伺います。

優れたラジオ番組の魅力に触れる、またとない機会です。ラジオや音楽に興味のある方、ラジオやテレビの制作者を目指す学生の方々、普段ラジオを聴く機会が少ない方など、多くの皆様の参加をお待ちしています。



### YBCラジオスペシャル

#### 花は咲けども

ある農村フォークグループの40年

(2014.5.31 放送・約49分)

山形県のフォークソンググループ「影法師」が震災から2年後に発表した「花は咲けども」。原発事故を風化させてはならないと訴える影法師の歌を通して“東北と中央の理不尽な関係”を浮き彫りにし、歌に込めた思いを伝えた。

**受賞** ギャラクシー賞 ラジオ部門 大賞  
放送文化基金賞 ラジオ番組 最優秀賞 ほか

「花は咲けども」を歌う  
“影法師”の生演奏有

# ラジオの音楽の力、

参加者  
募集!

### 戦後70年・YBCラジオドキュメント

#### 未完の五線紙

戦没作曲家・紺野陽吉が託した音楽

(2015.5.30 放送・約50分)

山形県白鷹町で町内出身の青年の曲が山形弦楽四重奏団の演奏で初演された。20年前に偶然発見された楽譜。地元でもほとんど忘れられていた青年が何を願い、出征直前に楽譜を託したのか。数少ない証言とわずかな記録をもとに取材を続け、「戦争」を今に伝える大切さを訴えた。



**受賞** 日本民間放送連盟賞  
ラジオ教養番組  
最優秀



## 入場無料

[要応募・先着300名]

※定員になりましたら応募を締め切りさせていただきます。

2016年1月16日(土)  
13時00分～16時30分(12時30分開場)


会場 山形県生涯学習センター  
遊学館 ※会場地図裏面

・JR山形駅から市役所経由路線バスで市役所下車徒歩5分  
・JR山形駅からタクシーで約5分

ゲスト 伊藤 和幸 山形放送 報道制作局 制作部  
次長/「花は咲けども」ディレクター  
鈴木 啓祐 山形放送 報道制作局 報道部  
統括部長/「未完の五線紙」  
プロデューサー・ディレクター

生演奏 フォークソンググループ 影法師

司会 石井 彰 (放送作家)

主催：(公財)放送番組センター／協力： 山形放送

### 応募方法

- (1) 往復はがき ①催事名(「ラジオを楽しむ」) ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥希望人数(3名様まで)を記入し、右記宛郵送。  
(2) FAX 上記必要事項と⑦FAX番号を記入の上、右記宛FAX。  
(3) Web 放送ライブラリーのホームページからお申し込み頂けます。

※応募頂いた方には、ハガキ・FAX・Web共、当日の入場整理券をお送りします。

### 申込み・問合せ

〒231-0021  
横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター内  
放送ライブラリー「ラジオを楽しむ!」係  
(TEL 045-222-2828 FAX 045-641-2110 <http://www.bpcj.or.jp/>)

※ご提供いただいた個人情報は、本催事の抽選の結果をお知らせする目的のみに使用します。  
※未就学児・小学生の入場はお断りさせていただきます。

2016年1月16日(土)

13時00分～16時30分(12時30分開場)

会場 山形県生涯学習センター 遊学館

ゲスト 伊藤 和幸 山形放送 報道制作局 制作部 次長  
鈴木 啓祐 山形放送 報道制作局 報道部 統括部長

生演奏 フォークソンググループ 影法師

司会 石井 彰 (放送作家)

# ラジオの力、 音楽の力

## 番組概要



### YBCラジオスペシャル 花は咲けども ある農村フォークグループの40年 (2014.5.31 放送・約49分)

プロデューサー 伊藤清隆 / ディレクター 伊藤和幸 / ナレーター 松下香織  
出演 遠藤孝太郎・青木文雄・横澤芳一・船山正哲

受賞 第52回 ギャラクシー賞 ラジオ部門 大賞  
第41回 放送文化基金賞 ラジオ番組 最優秀賞ほか

山形県長井市のフォークソンググループ「影法師」は、結成40年の「おやじ」4人組。地方や農業の現場から社会を風刺する歌を紡ぎ出してきた。震災から2年後に発表した「花は咲けども」は、震災復興支援ソング「花は咲く」へのアンチテーゼの歌である。「花は咲けども 春をよるこぶ人はなし 毒を吐き出す土の上 うらめしくやしと 花は散る」と歌い、事故を風化させてはならないと訴える。直接的な被害を受けていない者が福島の被災者の心情を歌っていいのかという葛藤もあったが、「東北で誰かがものを言わない限り、福島は完全に見えなくされてしまう」と、影法師は、この曲を多くのミュージシャンと歌い広めていくプロジェクトを始めた。影法師の歌を通して“東北と中央の理不尽な関係”を浮き彫りにし、歌に込めた思いを伝える。



### 戦後70年・YBCラジオドキュメント 未完の五線紙 戦没作曲家・紺野陽吉が託した音楽 (2015.5.30 放送・約50分)

プロデューサー・ディレクター 鈴木啓祐 / 編集 阿部邦彦  
ナレーター 青山友紀

受賞 2015年 日本民間放送連盟賞 ラジオ教養番組 最優秀

2013年4月、山形県白鷹町で町内出身の青年・紺野陽吉の曲が山形弦楽四重奏団の演奏で初演された。演奏は陽吉の生誕100年を記念して実現した。作曲家・清瀬保二の資料の中に半世紀眠っていた楽譜を、20年前に音楽評論家・小宮多美江さんが偶然発見したことで、五線紙から旋律が響くまでに至った。「弦楽二重奏曲」「木管三重奏曲」は、陽吉のふるさとの自然と祭りのリズムを思わせる。もう1曲「弦楽三重奏曲」は未完成だった。陽吉の出征直前の無念の姿が想像された。2015年3月、3曲がCDになった。地元でもほとんど忘れられていた陽吉。田舎に生まれながら音楽にのめり込んでいった青年が何を願い、出征直前に楽譜を託したのか。数少ない証言とわずかな記録をもとに取材を続け、「戦争」を今に伝える大切さを訴えた。



### 影法師 プロフィール

山形県長井市を拠点とする結成40年目のアマチュアフォークソンググループ。これまで首都圏と東北の不公平な関係を「白河以北一山百文」を始めとする歌で発信してきた。震災から2年後「花は咲けども」を発表。地方に身を置き、仕事を持って、そこで感ずる矛盾や怒りが歌う原動力となっている。

### セミナー会場案内

#### 山形県生涯学習センター 遊学館

〒990-0041 山形市緑町1丁目2番36号  
TEL.023-625-6411

- ・JR山形駅から市役所経由路線バスで市役所前下車徒歩5分  
\*遊学館前(徒歩1分) 停車バスも有り
- ・JR山形駅からタクシーで約5分



申込み・問合せ先

## 放送ライブラリー

〒231-0021 横浜市中区日本大通11番地 横浜情報文化センター内  
TEL 045-222-2828 <http://www.bpcj.or.jp/>

### 心に残るあの番組、あのコマーシャルがよみがえる

放送番組センターが運営する放送ライブラリーは、放送法に基づいて番組やCMを保存・公開している日本でただひとつの施設です。視聴設備のほかにも、放送の歴史やしくみを紹介する展示、アナウンサーやリポーターの体験ができるニューススタジオがあります。

公開セミナー ラジオを楽しむ！[5]

## ラジオの力、音楽の力

2016. 1. 16 / 遊学館ホール

主催：(公財)放送番組センター

～登壇者プロフィール～

**伊藤 和幸 (いとう・かずゆき)**

山形放送 報道制作局 制作部 次長 ※『花は咲けども』ディレクター

1970年、山形県飯豊町(いいでまち)生まれ。千葉大学法経学部卒。1993年山形放送入社。ラジオ制作部、テレビ制作部、報道部など報道制作分野を経験。『ラジオ DE ナイト 千客万来・チンドン繁盛』(1995)・『マタギ村からあなたへ クマと人間についての一考察』(1997)で日本民間放送連盟賞ラジオ部門優秀受賞。『戦場から届いた童謡 結城よしをと「ないしょ話」』(2013)同優秀賞、ギャラクシー奨励賞。『花は咲けども ～ある農村フォークグループの40年～』(2014)でギャラクシー大賞、放送文化基金賞最優秀賞、放送人グランプリ優秀賞、日本民間放送連盟賞優秀などを受賞。

**鈴木 啓祐 (すずき・けいすけ)**

山形放送 報道制作局 報道部 統括部長 ※『未完の五線紙』プロデューサー・ディレクター

1964年、山形県上山市生まれ。東北大学経済学部卒。1986年山形放送入社。報道部では警察や行政・選挙などのニュース取材を担当。途中、日本テレビ研修、東京支社勤務を経て2004年からニュースデスク。一方でNNNドキュメントなどの番組制作やラジオ、テレビで選挙番組を担当。2009年から制作会社・東北映音に出向。民間放送教育協会の番組やニュース企画を担当し再び報道部でニュースデスク。2015年より報道部長。2014年放送のテレビドキュメンタリー番組『孫七の森 ～いま切実に里山を思う』で農業ジャーナリスト賞、2015年ラジオドキュメンタリー『未完の五線紙 ～戦没作曲家・紺野陽吉が託した音楽～』で日本民間放送連盟賞ラジオ教養最優秀受賞。

**石井 彰 (いしい・あきら) / 放送作家**

1955年、長野県生まれ。TBSラジオの長寿番組『永六輔の誰かとどこかで』の演出を務めた。この他にもテレビ・ラジオで多くのドキュメンタリー番組を企画構成。構成を担当した『魂の46サンチ砲』(2008/文化放送)は、平成20年日本民間放送連盟賞ラジオ教養番組最優秀、『お米のあした』(2012/新潟総合テレビ)は、平成24年日本民間放送連盟賞テレビ報道優秀を受賞。文化庁芸術祭、日本民間放送連盟賞、録音風物誌年間コンクール審査員。

無断転載を禁じます。